

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373400254
事業所名	託老所・グループホーム 今井あんきの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	開設当初から地域に届けこむよう努めてきており、保育園、小学校の運動会や、敬老会、地域の盆踊りなどに招待されている。ボランティアの訪問や保育園児の訪問もある。職員は地域の人に積極的に働きかけ、介護の相談を受けたり、あるいは気になる人などには手を差し伸べ、さらに地域との繋がりを深めるよう努めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議には地域から老人会の人や民生委員が、また他の事業所の管理者、利用者家族、市職員が参加し、二ヶ月に一度開催されている。介護保険のことや、もっと根本的なグループホームとはどのようなものか、という質問にも答えながら事業所の行事などを伝える場として活用している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の職員とは、介護保険や制度についての質問、運営上の疑問などを問い合わせたり、運営推進会議に参加してもらったりして、協力関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族からは面会の際に必ず意見や要望を聞き取るようにしており、衣類のことや、外出や帰宅についての要望はその都度、また支援のありかたに対する意見は職員で共有し改善に努めている。グループホーム単体の便りと、隣接する他の施設との合同の便りを発行し、家族に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				